

地理教育方法・評価 演習



第13講 授業改善の目的と方法(1) －レッスン・スタディーの方法論－

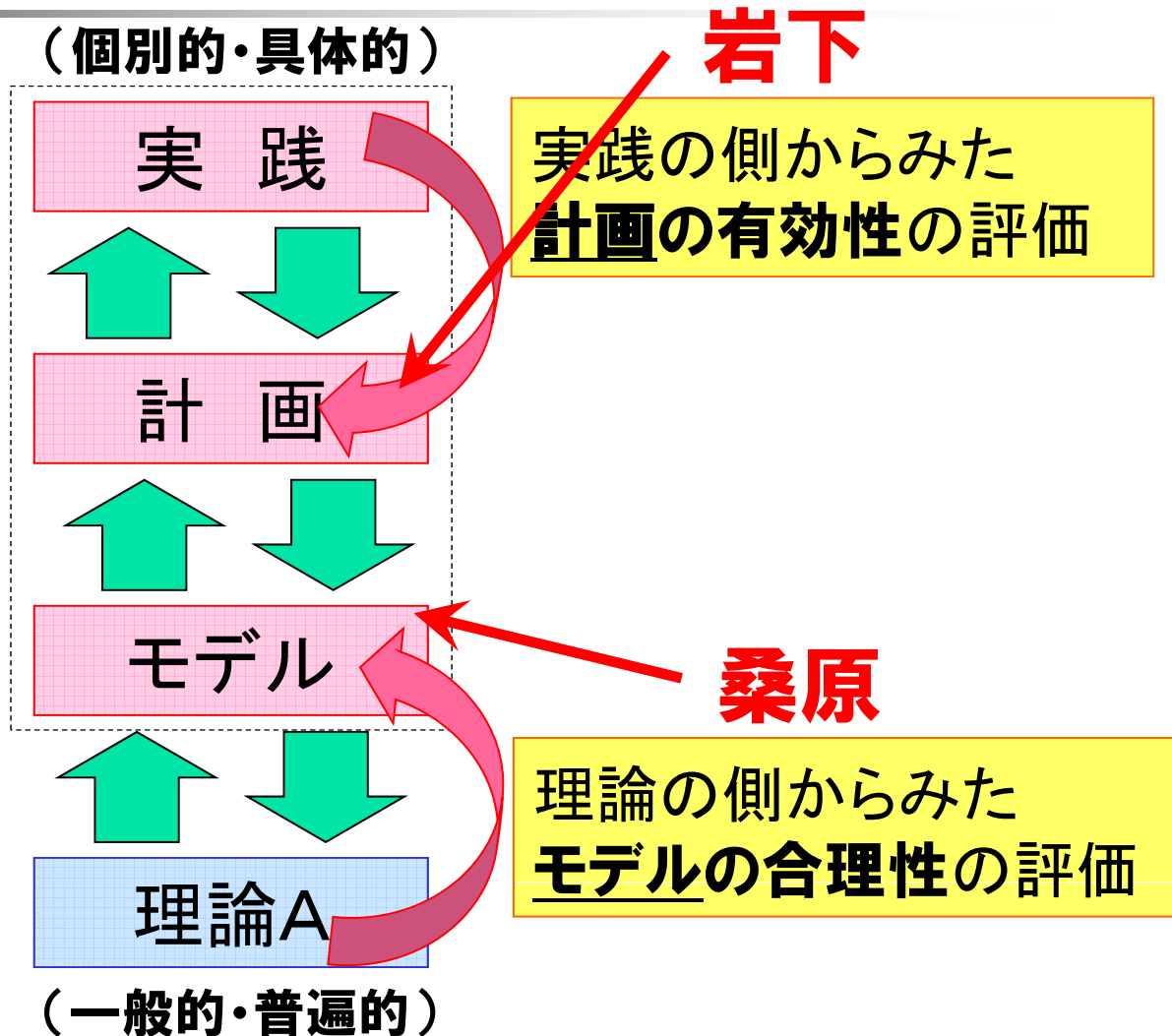


【次回の課題】

「郷土の開発」を事例に、なぜ授業改善を行うのか、どのようにして授業改善を行うのか、を説明しよう。

1. 同じ棚橋の指導案²を素材としながら、桑原と岩下で**見解・評価が異なるのはなぜか？**説明せよ。・・・BE班
2. 棚橋の指導案¹と²では、**教材とその活用法**がどのように変化して(改善されて)いるか。箇条書きせよ。・・・AD班
3. 谷も棚橋も「地域学習」の改善を提案している点では共通している。しかし、**両者の問題意識(目的)と解決策(手段)**には**違い**が見られる。その違いを説明せよ。・・・CF班

I 授業とは、授業の位相



II 授業研究: レッスン・スタディーとは

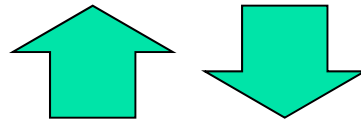
授業研究とは、
分析→開発＝
評価→改善＝
省察を繰り返すこと

なぜ？

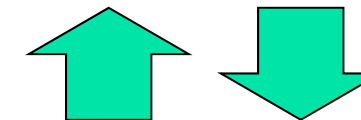
個別的な教育活動に注目し、その根拠となっている原則・構造を解明する

開発 (個別的・具体的)

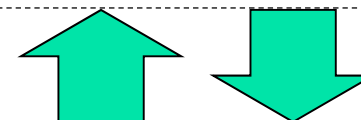
実践



計画



モデル



理論A

(一般的・普遍的) **分析**

一般的な原理・原則に基づいて、それを実現しうる教育活動を創造する

どうすれば？

II-1 ●●的批判にもとづく授業改善

－棚橋健治のアプローチ－

1. 目標は、態度・生き方の育成から、思考力の育成に重点を転換する

- 社会科固有の学力は知的的好奇心＋社会認識の形成

2. 内容は、人物の努力・偉業から、時代の構造・変化に差し替える

↪ - 向山周慶の砂糖づくりの経緯とその優れた技術

↪ - 向山周慶の砂糖づくりに象徴される商品経済への移行

3. 方法は、行為の意味や価値への共感から、行為が賞賛される理由の資料分析に移す

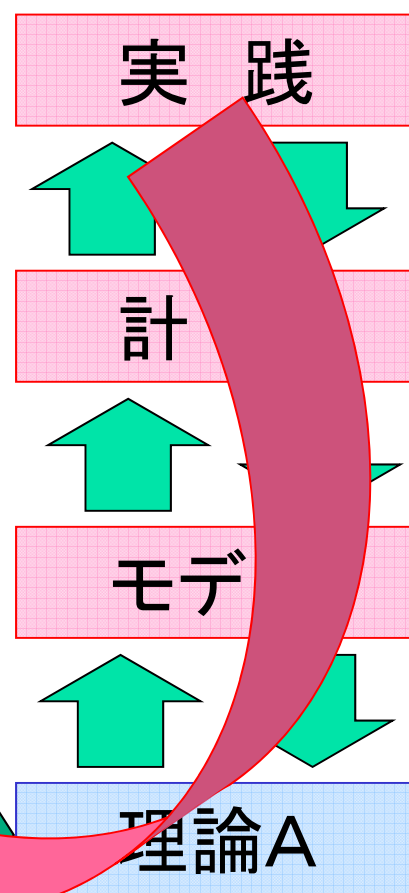
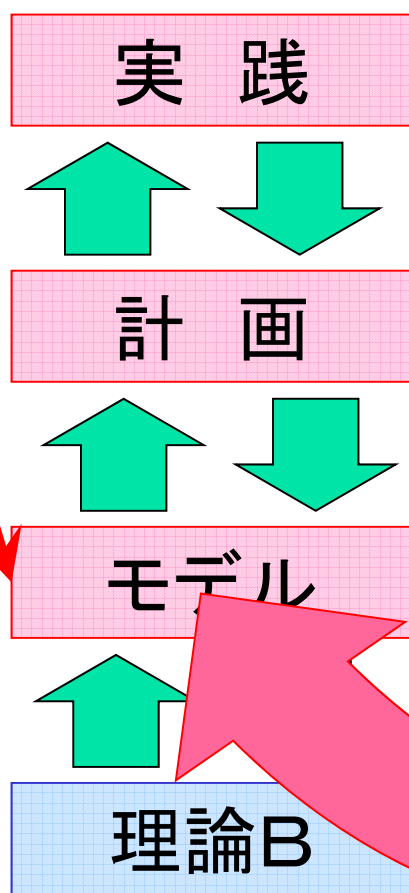
↪ - 物語化(劇・紙芝居), 評価の聴取→歴史的意義の理解

↪ - 財政の分析, 農業書 of 思想比較→社会変動の説明

教科＝社会科の特性にもとづいて、
理解型に代わる説明型の有意性・選択肢を説く

開発（個別的・一回的）

棚橋



三本松
小学校

（一般的・普遍的）分析

11-2 ●●的批判にもとづく授業改善 －谷和樹のアプローチ－

1. 導入部は、子どもの発表ではなく、教師の解説に代える

- 向山周慶と砂糖づくりの事実について紹介

2. 展開部は、中心概念を確認した上でMQを提示 →作業と回答のフォーマットを与える

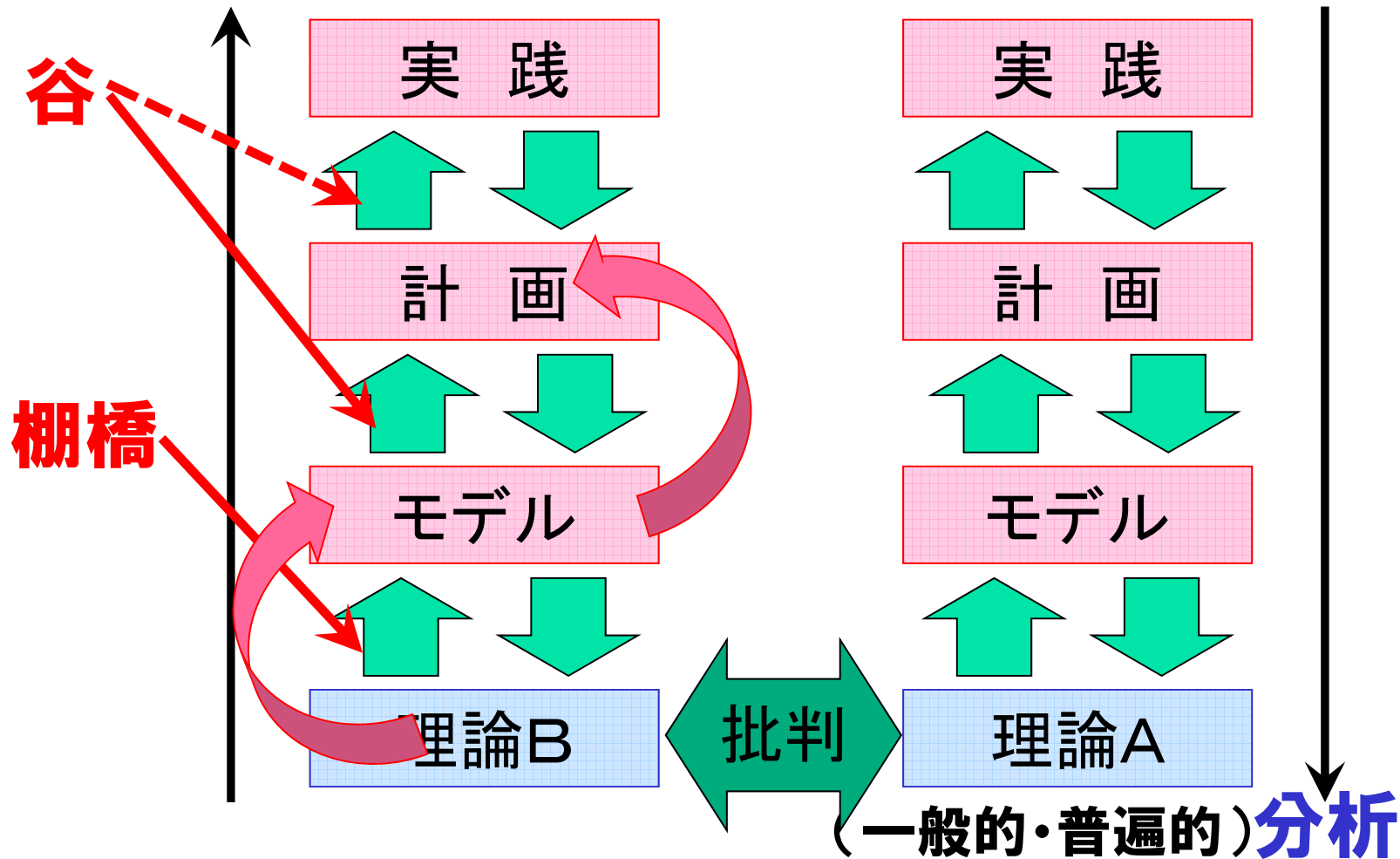
- 当時の「自給自足」とはどのようなことか、調べなさい。辞典やインターネットで調べなさい
- 讃岐での砂糖作りの広まりは、「自給自足の社会」を「○○な社会」に変化させたと考える、理由は…

3. 終結部は、MAをまとめ、応用をはかる

- 「阿波の藍」はどうだろう、阿波はどう変化しただろう

理念の具現化，合理性の優先的な追求から，状況への適応，有効性の優先的な追求へ

開発（個別的・一回的）



III 授業研究:レッスン・スタディーの 2つの方法論

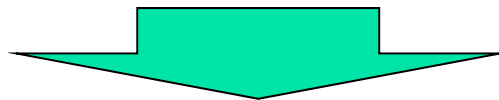
1. 内在的評価にもとづく授業改善

授業者が掲げる目標を実現する上での**方法論の問題点**を指摘し、**代案を提案する**

→発問とその配列, 教材とその提示, 知識とその構造,
知識の指導法, 学習形態…などの修正

2. 外在的評価にもとづく授業改善

授業者が掲げる**目標と方法論で指導した場合の**
(論理的実際のな)効果・意義を指摘し、**代案=もっと**
効果・意義が見込まれる目標と方法論を提案する



同僚性と授業改善を基盤にした指導力の向上